

端末利用先がコルレス先等から受信した MX 電文の情報を日銀
ネット端末に入力して日本銀行に引落入金依頼を行う場合の入力
方法等について

1. はじめに

- ・ 端末利用先^(注1)がコルレス先等から受信した MX 電文の情報を日銀ネット端末に入力して日本銀行に引落入金依頼^(注2)を行う場合の取扱いは、MT 電文の情報を入力する場合の取扱いと同様です。もっとも、限られたケースにおいては、MX 電文は MT 電文と比較して情報量が多いことから日銀ネット端末の項目の不足等が生じる可能性がありますので、以下では、そうした場合の対応についてお知らせいたします。

(注1) 日銀ネット端末を利用して事務（入力画面への入力・帳票の出力）を行うオンライン取引先をいいます。以下同じです。

(注2) 日銀ネットを利用して、一定の金額を自己の当座勘定から引落とし、これを海外預り金勘定に入金することを依頼することをいいます。以下同じです。

2. 端末利用先が MX 電文の情報を日銀ネット端末に入力する場合の取扱い

- ・ 「CUSTOMER TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」(業務処理区分コード：211601。以下「顧客送金電文」といいます。) または「BANK TRANSFER (DEPOSITS OF OVERSEAS INSTITUTIONS)」(業務処理区分コード：211602。以下「金融機関間送金電文」といいます。) の入力等は以下のとおり行っていただくことを想定しております。

(1) 日銀ネット端末の個別項目

- ・ MX 電文の項目に対応する日銀ネット端末の項目がある場合には、当該日銀ネット端末の項目に MX 電文の情報を入力してください（入力時の留意点は後述 3. (1) を参照）。

(2) 日銀ネットの端末の INFORMATION 欄等

- ・ MX 電文の項目に対応する日銀ネット端末の項目がない場合には、MX 電文の項目を特定する情報とともに INFORMATION 欄等に入力してください（入力時の要領は後述 4. を参照）。また、(1) の場合において日銀ネット端末の項目の文字数の不足により入力しきれない場合も同様です。

(3) 記事情報通知依頼書による通知

- MX 電文の項目に対応する日銀ネット端末の項目がない場合において、MX 電文の情報を INFORMATION 欄等に入力しきれないときは、INFORMATION 欄等に入力しきれない情報のみを記事情報通知依頼書により通知してください（通知の送付は業務オンラインにより行います。送付の要領は後述 5. を参照）。

また、記事情報通知依頼書のイメージは別添 1 のとおりです。

| Pacs008 Financial Institution to Financial Institution Customer Credit Transfer | | |
|---|-------------|-------------|
| CreditTransferTransactionInformation | CdtTrfTxInf | |
| PaymentIdentification | PmtId | |
| InstructionIdentification | InstrId | ABCDEF-01 |
| EndToEndIdentification | TxId | AAABBB000 |
| Debtor | | |
| Name | Nm | DDDD |
| PostalAddress | PstlAdr | |
| TownName | TwnNm | EEEE |
| Country | Ctry | FFFF |
| Creditor | | |
| Name | Nm | GGGG |
| PostalAddress | PstlAdr | |
| PostCode | PstCd | HHHH |
| TownName | TwnNm | IIII |
| UltimateCreditor | | |
| Name | Nm | JJJJ |
| PostalAddress | PstlAdr | |
| Department | Dept | KKKK |
| TownName | TwnNm | LLLL |
| RemittanceInformation | | |
| Unstructured | Ustrd | KANSURUJOHO |

(1) 個別項目がある場合は、該当する項目に入力

(2) 個別項目がない場合は、INFORMATION 欄に入力

(3) INFORMATION 欄に入力しきれない場合は、記事情報通知依頼書により通知

業務オンライン

記事情報通知依頼書

3. 日銀ネット端末の個別項目への入力について

- 利用細則（当座勘定取引）^(注) 第 1 編 IV. および第 2 編に定めるところに従い、入力してください。MX 電文の情報を入力する場合の留意点等は以下のとおりです。

(注)「日本銀行金融ネットワークシステム利用細則（当座勘定取引）」をいいます。以下同じです。

(1) 関連する項目への入力

- MX 電文の情報を入力する場合には、次表左欄に掲げる項目に、次表右欄に掲げる MX 電文の情報を入力して差し支えありません。

| | | |
|--------------------------------|--|--|
| 日銀ネット端末の項目 | | MX 電文の情報 |
| 顧客送金電文 | | pacs. 008 |
| | 【 DEBTOR 】 または 【 CREDITOR 】 の ADDRESS1 欄 および ADDRESS2 欄 | 項目群「Debtor」または「Creditor」中の項目群 「PostalAddress」に属する項目「TownName」、 「Country」等 |
| | 【 DEBTOR 】 または 【 CREDITOR 】 の PRIVATE ID 欄 | 項目群「Debtor」または「Creditor」中の項目群「I dentification」中の項目群「PrivateIdentificati on」の情報 |
| | 【 DEBTOR AGENT 】 または 【 CREDITOR AGENT 】 の NAME 欄 | 項目群「DebtorAgent」または「CreditorAgent」中 の項目群「FinancialInstitutionIdentification」 中の項目群「PostalAddress」に属する項目 「TownName」、「Country」等 |
| | 【 DEBTOR AGENT 】 または 【 CREDITOR AGENT 】 の CLEARING SYSTEM MEMBER ID 欄 | 項目群「DebtorAgent」または「CreditorAgent」中 の項目群「FinancialInstitutionIdentification」 中の項目群「ClearingSystemMemberIdentification」 の情報 |
| 金融機関間送金電文（カバー 情報にかかるものを除く。） | | pacs. 009 |
| | 【 DEBTOR AGENT 】 または 【 CREDITOR AGENT 】 の NAME 欄 | 項目群「DebtorAgent」または「CreditorAgent」中 の項目群「FinancialInstitutionIdentification」 中の項目群「PostalAddress」に属する項目 「TownName」、「Country」等 |
| | 【 DEBTOR AGENT 】 または 【 CREDITOR AGENT 】 の CLEARING SYSTEM MEMBER ID 欄 | 項目群「DebtorAgent」または「CreditorAgent」中 の項目群「FinancialInstitutionIdentification」 中の項目群「ClearingSystemMemberIdentification」 の情報 |

（２）【PREVIOUS INSTRUCTING AGENT】への入力

- ・ 現行、顧客送金電文および金融機関間送金電文の【PREVIOUS INSTRUCTING AGENT】に入力された情報は入金先の外国中央銀行等には通知しない扱いとなっておりますが、2022 年 11 月以降は当該情報も通知対象となります。これに伴い、引落入金依頼を行うオンライン取引先に対して入金の依頼を行った金融機関等に関する情報を【PREVIOUS INSTRUCTING AGENT】に入力しても差し支えありません。入力例は別添 2 のとおりです。
- ・ なお、上記の扱いは、主にコルレス先等から MX 電文を受信した場合を想定したのですが、MT 電文を受信した場合に入力していただいても、差支えありません。

(3) 入金が行われる海外預り金勘定の名義人である外国中央銀行等の情報の入力

- 原則として、利用細則（当座勘定取引）第1編 IV. および第2編に定めるところに従い、BICコードを入力してください。ただし、当該BICコードが示すものと一致したものである限りにおいて、CLEARING SYSTEM MEMBER ID 欄、NAME 欄等を併せて入力して差し支えありません。ただし、BICコードとBICコード以外の項目が示すものが不整合であった場合、入金先の外国中央銀行等を特定できず、取引内容の訂正または取引の取消を依頼することとなります。

4. 日銀ネット端末の INFORMATION 欄等

(1) 使用する日銀ネット端末の項目

- 日銀ネット端末の項目には、MX 電文の項目（「UltimateCreditor」、
「UltimateDebtor」等）がないため、これらの情報を入力する場合には、顧客送金電文または金融機関間送金電文の次の欄に入力してください。

① 【INSTRUCTION FOR CREDITOR AGENT】の INFORMATION 欄

② REMITTANCE INFORMATION 欄

- なお、金融機関間送金電文の【UNDERLYING CUSTOMER CREDIT TRANSFER】配下の REMITTANCE INFORMATION 欄には、MX 電文のカバー情報について日銀ネット端末の項目に入力しきれない情報を入力してください。

(2) 入力内容

- MX 電文の情報を INFORMATION 欄等に入力する場合には、MX 電文の情報を特定するために CBPRplus の XMLTag を当該情報とあわせて入力してください。この場合、日銀ネット端末の項目の文字数に制約があるため、当該情報を特定するために必要な XMLTag のみ入力してください。CBPRplus のすべての階層における XMLTag を入力する必要はありません。

(3) 入力イメージ

INSTRUCTION FOR CREDITOR AGENT

| | |
|------------------|---|
| INSTRUCTION CODE | |
| INFORMATION | UltmtDbtr/Nm/Nichigin Taro/PstlAdr/123 Times Square, New York/US/ |
| | BirthDt/19761121 |

5. 記事情報通知依頼書による通知を行う場合の扱いについて

(1) 記事情報通知依頼書の送付

- ・ 端末利用先は、コルレス先等から受信した MX 電文の情報を記事情報通知依頼書により日本銀行に通知する場合には、作成した記事情報通知依頼書を業務オンラインにより送付します。

(2) 授受の手順

- ・ 端末利用先は、引落入金依頼を行う場合において記事情報通知依頼書を使用するときは、次のとおり日銀ネットへの入力等を行ってください。

- ① 日銀ネットにより顧客送金電文または金融機関間送金電文を送信します。

—— 3. および 4. のとおり入力してください。また、MX 電文の情報を入力しきれない場合には、【INSTRUCTION FOR NEXT AGENT】の INFORMATION 欄に、追加情報がある旨を入力していただく予定です。

- ② ①の日銀ネット電文を送信後、業務オンラインにより①の電文を送信した日の午後 3 時までに日本銀行に対して記事情報通知依頼書を送付します。

—— 記事情報通知依頼書には、個人情報が含まれる可能性があるため、開封パスワードを設定してください。

—— 午後 3 時までに送付できない場合には、予めその旨を連絡してください。

- ③ ②の記事情報通知依頼書を送付後、電話により日本銀行に対して記事情報通知依頼書を送付した旨および開封パスワードを連絡します。

—— 業務オンラインでお伝えする電話番号に電話してください。詳細は改めてお示しします。

(3) 事務習熟について

業務オンラインの RT (7 月 11 日～8 月 5 日予定) とは別に、「記事情報通知依頼書」については、業務オンラインを用いた授受にかかる事務習熟の機会を、秋頃を目途に設ける予定です。事務習熟の機会を利用されたい先におかれては、以下のとおり電子メールによりご連絡ください。なお、本資料の別紙 2 の別添 5 の事前調査に回答する先におかれては、当該事前調査にあわせて本件についてもご回答いただけますので、同別添 5 をご覧ください。

- ・送付先メールアドレス：post.od25@boj.or.jp
- ・送付期限：2022 年 6 月 30 日（木）
- ・メール件名：記事情報通知依頼書に関する件
- ・メール本文：記事情報通知依頼書について事務習熟のための授受を希望する旨

以 上